

第 45 回通常総会議事録

1. 開催日時 2019 年 6 月 11 日(火) 午後 2 時～午後 3 時
2. 開催場所 大阪キャッスルホテル 6F
3. 出席会員 141 名(本人出席 41 名 議決権行使及び委任状 100 名)
4. 議事次第
 - 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び決算報告承認の件
 - 第 2 号議案 2019 年度(令和元年度)事業計画及び予算の件
 - 第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告書の提出の件
 - 第 4 号議案 理事・監事選出の件

5. 経過

○午後 2 時、野出副会長の司会で開会

○会長より下記の内容の挨拶

- ・出席いただいた会員に対するお礼、また、会員を代表して来賓に対するお礼
- ・浄化槽法改正について
- ・2019 年度省エネ型浄化槽システム導入推進事業について
- ・2019 年度(令和元年度)事業計画について
 - …グリストラップの有用性調査について
 - …浄化槽法定検査不適項目の改善方策の検討

様々なことについて、行政、会員ともに連携して取り組んでいく

当協会は浄化槽を通じて生活環境の向上と水環境保全のための生活排水対策に積極的に取り組んで参りますので、さらなる当協会へのご支援ご協力お願いし、挨拶とする。

○来賓祝辞者、大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課長 牧田 武一氏より下記内容の祝辞

- ・通常総会を開催されたことへのお祝い及び府民の生活衛生、公衆衛生の確保に対する尽力についてのお礼
- ・省 CO2 型大型浄化槽システム導入推進事業の紹介
- ・G20 大阪サミット、大阪万博について
- ・浄化槽の重要性と協会の役割について

協会のさらなる取り組みに期待するとともに、府政への変わらぬご協力をお願いしたい。協会のますますのご発展と本日のご臨席の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈りし、挨拶とする。

○司会より下記来賓の紹介

大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課 課長	牧田 武一 様
大阪府健康医療部環境衛生課 課長	木村 直昭 様
大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課 課長補佐	中田 仁 様
大阪府健康医療部環境衛生課 課長補佐	上澤 行成 様
枚方市保健所 保健衛生課 環境衛生グループ 主幹	土屋 誠 様
寝屋川市保健所 保健衛生課 課長	松島 加代 様
大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課 建築環境・設備グループ 主査	垣木 勝範 様
大阪府健康医療部環境衛生課 水道・生活排水グループ 総括主査	長尾 綾佳 様
大阪府健康医療部環境衛生課 水道・生活排水グループ 副主査	高塚 遼 様
高槻市 都市創造部 審査指導課 主査	杉本 季優 様

○司会より下記の祝電の披露

大阪府知事		吉村 洋文 様
一般社団法人 全国浄化槽団体連合会	会 長	上田 勝朗 様
大阪府衛生管理協同組合	理 事 長	米田 健司 様
公益社団法人 滋賀県生活環境事業協会	会 長	安田 全男 様
公益社団法人 京都保健衛生協会	理 事 長	川端 良一 様
一般社団法人 奈良県環境保全協会	理 事 長	山本 佳彦 様
一般社団法人 兵庫県水質保全センター	会 長	九坪 登志彦 様
一般社団法人 和歌山県浄化そう協会	会 長	林 恵一 様
公益社団法人 和歌山県水質保全センター	会 長	吉村 英夫 様

- ・紹介後、来賓の退席及び議長席設置の為 5 分程度の休憩を取った。

○会長が総会の再開を宣言し、定款第 16 条の規定に基づき、会長を議長とした

○事務局より総会出席人数の報告

- ・本人出席 41 名、議決権行使書および委任状の提出 100 名で合計 141 名となり
会員総数 160 名の過半数を超えていることから、定款第 18 条により総会が有効に成立している
ことを報告

○議事録署名人選出について

- ・議事録署名人選任について総会に諮った結果、議長一任となり、会長以外に下記の議事録署名人を指名した。

議事録署名人

会長	辻 精一郎 氏
(株)ハウステック	的場 宏 氏
(株)大阪テクノクラート	増田 義見 氏

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び決算報告承認の件

○第 45 回通常総会議案書は事前に配布しているので、以下の事項について要点を絞り、事務局より議案説明

(1) 会員状況の報告

(2) 普及啓発事業

- ・「柏原市市民総合フェスティバル」、「水環境セミナー」についての報告

(3) 研修事業

浄化槽施工管理資格者講習会の報告

(4) 国家試験及び講習会受託事業

- ・例年通り実施との報告

(5) その他受託事業

- ・例年通り実施との報告

(6) 会議関係

- ・例年通り実施との報告

(7) 浄化槽申請件数

- ・平成 30 年度市町村別浄化槽申請件数の報告

下水道の進展もあり年々申請件数は減少している。合計申請件数が 941 件となり 1000 件を切る状態が続く結果となった。

なお、全体の 6 割強は泉州地域での申請となっている。

(8) 浄化槽法定検査事業

- ・7 条検査に関しては前年度比で 11 件減少して 874 件、
11 条検査に関しては前年度比で 8 件減少して 13,421 件。

- ・7 条、11 条検査の判定結果とその内訳について説明を行った。4 月 25 日の監査において 7 条及び 11 条検査の不適項目が毎年継続してあることについて、不適項目を減らす対策を検討すべきではないかとの指摘があった。これに対し、2019 年度事業計画の中に事業として盛り込み、どう取り組んでいくかを検討する。

(9) 浄化槽機能保証制度事業

- ・平成 30 年度は 70 件、市町村別件数を報告。

(10) 決算報告

- ・資産合計は 277,275,873 円で前年度より約 3,475,000 円の増加
- ・負債合計は 151,424,521 円で前年度より約 1,83,8000 円の減少
- ・経常収益について、合計が 121,867,916 円となった。経常費用については合計が 116,554,787 円となった。結果、当期経常増減額は 5,313,129 円の黒字となった。

(11) 監査報告

- ・片山監事より 4 月 25 日の監査について適性であった旨の報告。

○以上の説明に対し、意見・質問なく、承認された。

第 2 号議案 2019 年度(令和元年度)事業計画及び予算の件

○事務局から資料に基づき、以下の議案説明

(1)運営基本方針

- ・基本的に平成 30 年度と変更なし。

(2)事業計画

1)浄化槽の普及・啓発事業

- ・当一般社団法人の目的の大きな柱の一つであるが、経費・人員の関係もあり、今まで十分な活動が出来なかったが、方法・手段等を再検討し、効率的な実施を心がけ、7つの各項目で、少しでも多くの成果を上げていきたい。

⑥の省エネ型浄化槽システム導入推進事業については、環境省から認定を受けた全浄連が執行団体となり、今年度は予算規模が 20 億円に拡大されている。補助対象も拡大、手続等も簡素化されたこともあるので、積極的に活用していただきたい。

2)浄化槽の普及・啓発事業

- ・例年、11 条検査の受検率を少しでも向上させるため、保健所や市町村と連携して PR 活動等を実施しているが、なかなか効果が上がらないのが実情となっている。今年度も引き続き、方法を検討しつつ PR を実施する一方、受検率の高い県の仕組みについても、その応用の可否について検討したい。

3)信頼性を高める事業

① GIS（地理情報システム）を利用した浄化槽情報の管理について

- ・集積された浄化槽情報をより充実させ、法定検査の受検啓発等に活用する。

② 浄化槽竣工検査等について、関係機関と調整

- ・行政や確認検査機関と協力して、浄化槽の施工状況を協会の立場で確認する方法を制度化していく。

③ 大規模災害発生に備えた取り組み

- ・会員の協力を得て、大阪府との災害時協力協定に基づき、大規模災害発生時に備えた対応策をさらに検討する。

4)浄化槽関係国家試験及び各種講習会の受託業務

- ・平成 30 年度と変わりなし。

5)新たに取り組む事業について

①グリーストラップの有用性調査等を実施

- ・以前から各委員会で現状や課題について検討しており、2019 年度は、大阪府の協力を得て、大阪健康安全基盤研究所に、浄化槽の処理機能に影響を及ぼすグリーストラップの実態を解明するとともに、その管理状況と浄化槽の処理機能との関連性を解明する調査を委託する。

②浄化槽法定検査不適項目の改善方策の検討

- ・4 月 25 日の監査時に「不適施設への抜本的な取り組みが必要」との指摘があり、今後 1 年をかけて、法定検査の結果で「不適」となった項目の改善方策について検討を行う。

6)会議関係、7) その他

- ・平成 30 年度と変わりなし。

○2019 年度(令和元年度)予算案について

- ・経常収益について、平成 30 年度に引き続き、2019 年度も申請件数が減少することが予測されている為、受取会費を前年度より約 25 万円減少、事業収益についても約 5 万円減少と収益の部全体では前年度より約 30 万円少ない、118,985,500 円とした。
 - ・経常費用について、職員の定年退職と嘱託採用に伴い給与手当を前年度より約 46 万円減少、福利厚生費を約 7 万円減少とした。法定検査受検啓発等 PR 費用の増加を見越して通信運搬費を約 21 万増加、グリーストラップの有用性の調査に当てる費用として、調査費に新たに 100 万円計上した。車両費についてはガソリン代の値上げ等も勘案し、約 13 万円増加、啓発費は今年度の執行状況と啓発効果等から勘案し、50 万円減少とした。
- 以上から、事業費と管理費を合計した経常費用は 118,359,112 円とし、経常増減額は 626,388 円とした。

○以上の説明に対し、意見・質問なく、承認された。

第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告書提出の件

○事務局より資料に基づき、以下の議案説明

- ・一般社団法人への移行に伴い、平成 25 年度から公益目的支出計画実施報告書を大阪府知事に提出することが義務付けられている。
- ・平成 30 年度は公益目的として 4,134,064 円支出し、年度末の公益目的財産残高は 200,319,159 円となっている。

○以上の説明に対し、意見・質問なく、承認された。

第 4 号議案 理事・監事選出の件

○議長より議案説明

- ・新役員の選任は、定款第 24 条に「理事及び監事は総正会員及び総特別会員の中から総会の決議によって選任する」と定められている。つきましては、本年 5 月 14 日に行われた第 282 回理事会において審議を行い、「新役員(理事・監事)推薦名簿(案)」を決定したので、本日の総会に提案する。

○第 4 号議案について推薦名簿(案)をもとに議事を進めることを総会で諮り、会場より「異議なし」との声が上がり、出席会員全員の了承を得た。

・事務局より、以下の説明

今回の理事・監事選出における変更点として、松藤理事・副会長のご勇退に伴う理事1名を補充する案となっている。後任の理事については（株）SYCの米田 健司 様を推薦する。

新理事名簿案をもとに、新理事17名、新監事2名を提案し、以下、全員が承認された。

理事	愛知	和巳	様	全員承認	理事	足谷	禎一	様	全員承認
理事	岡部	憲欣	様	全員承認	理事	加藤	剛	様	全員承認
理事	瓦谷	昇次	様	全員承認	理事	田村	光延	様	全員承認
理事	辻	精一郎	様	全員承認	理事	野出	英夫	様	全員承認
理事	野中	久泰	様	全員承認	理事	野村	宗克	様	全員承認
理事	柁木	隆弘	様	全員承認	理事	増田	義見	様	全員承認
理事	的場	宏	様	全員承認	理事	三ツ川	浩一	様	全員承認
理事	宮下	政之	様	全員承認	理事	森	広治	様	全員承認
理事	米田	健司	様	全員承認					
監事	安居	英洋	様	全員承認	監事	片山	敏	様	全員承認

○最後に議長より本日予定していた議案の審議は全て終了したことを報告した。

閉会

○野出副会長より閉会の挨拶。